

中国民間文化保護の近影

白 庚 勝

21世紀に入ってから、グローバリゼーションの大きな衝撃と総合国力の不断の強化に伴い、中国に文化の波が次々と巻き起こり、中華民族の文化的自覚が高まって、中華文明が世界の多元的文化に新しい貢献をする機運が芽生えてきた。

これら活力のある動きの中で、最も規模が大きく異彩を放っているのは、中国民間文芸家協会が実施する「中国民間文化遺産緊急救済プロジェクト」と中華人民共和国文化部が実施する「中国民族民間文化保護プロジェクト」である。「中国民間文化遺産緊急救済プロジェクト」は2003年に始動しており、2012年までの10年間実施される。このプロジェクトでは、かつてない規模で全国的な民間文化遺産の調査を実施し、それを基礎にして以下の様な書籍を出版する予定である。すなわち、『中国民間故事全書』（県巻本）3,000巻、『中国民俗誌』（県巻本）3,000巻、『中国民間家書集成』10巻、『中国家譜集成』10巻、『中国民間美術図録』（省巻本）31巻、『中国木版年画集成』20巻、『中国切絵集成』50巻、『中国タンカ（チベット軸装仏画）集成』20巻、『中国服飾文化集成』70巻、『中国民間芸術伝承者集成』100巻、『中国民家村落集成』100巻、『中国彩色画集成』10巻、『中国民間文化遺産紹介双書』50巻、『中国叙事長編詩集成』100巻、『中国史詩集成』100巻である。さらに次のような計画もある。

- ・100の民間文化専門博物館を建設する。
- ・100の民間文化専門委員会を設立する。
- ・100の民間文化の郷を建設する。
- ・東北シャーマン文化、東南媽祖文化、中南儺（おにやらい）文化、西部タンカ文化、中原神話の五大国際文化センターを建設する。
- ・天津国際民間芸術博覧会、北京中国民間工芸精品博覧会、アモイアジア・アフリカ・ラテンアメリカ手工芸博覧会、昆明東南アジア民間文芸集散地、ウルムチ中央アジア・西アジア民間文芸集散地、瀋陽東北アジア民間文芸集散地、ラサ南アジア民間文芸集散地の7つの国際民間文芸プラットフォームを整備する。
- ・長春民間工芸博覧会、瀋陽中国灯籠祭、張家港長江文化芸術祭、桂林中国絶技芸術祭、長沙酒文化芸術祭の五大国内民間文芸ブランドを整備する。

「中国民間文化遺産緊急救済プロジェクト」は、学術を第一にしながら事業性も兼ね備え、政府の主導と社会の参画を堅持し、中央から地方、学者から一般庶民、専門機関から一般団体、事業体から産業部門、全国調査から専門作業までが協力する体制を構築するもので、すでに部分的な成果を収めている。プロジェクトの大部分は現在実施中であり、一部は近々始動する予定である。

「中国民間文化遺産緊急救済プロジェクト」の核心は保護であり、しかも緊急救済的保護である。これに対する我々の基本的スタンスは、静態的な保護ばかりでなく、動態的な保護を行い、改革開放のフロンティアである辺境の、危機に瀕した、少数民族の民間文化を優先的に保護することである。具体的には、国際的保護、国家的保護、生産的保護、生活的保護、生命的保護、学術的保護、教育的保護、法的保護、産業的保護を結びつけた形式を採用し、学者を中心に政府職員、教育者、法律専門家、一般庶民、企業家で構成した保護グルー

ブを組織して、保護と伝承、体制転換、革新、開発を相互補完させることによってより大きな効果を上げようというものである。

このプロジェクトの実施が、21世紀における中華民族の人文精神の再建、世界平和の擁護、人類の優れた文化遺産の保護に対し、重層的で奥深い影響を及ぼすであろうことを、私は確信している。